



茨城大学 (茨城県)



研修生は留学生のためのクラス及び日本人学生と同一のクラスで学び、更に日本社会で生活することにより、日本語・日本文化を体験的に学ぶことができる。

■大学紹介

①大学の特色および概要

(1) 特色と歴史

本学は昭和24年新制大学としてスタートし、現在は人文社会科学・教育・理・工・農の5学部と人文社会科学・教育学・理工学・農学研究科の4大学院を有する総合大学として発展している。教育の伝統は、少人数によるゼミナール形式授業の重視、現代的・地域的課題に取り組む実学研究の重視等である。

(2) 教員及び学生数

2016年現在の教員数は、632名、学生数は、正規生のみで、学部生7,012名、大学院生は1,132名となっている。

②国際交流の実績

茨城大学は、海外15ヶ国の39大学等と交流協定を結んでおり、多数の外国人研究者と留学生を受け入れている。

③過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生受入実績

2016年留学生数	(学部レベル) 157
	(大学院レベル) 131
2015年留学生数	(学部レベル) 178
	(大学院レベル) 113
2014年留学生数	(学部レベル) 182
	(大学院レベル) 94

2016年度日本語・日本文化研修留学生 1名

2015年度日本語・日本文化研修留学生 4名

2014年度日本語・日本文化研修留学生 3名

④水戸市の特色

東京から北東100kmに位置する水戸市は、茨城県の政治・経済・文化の中心地として古くから発展してきた都市である。市の中心地には日本3名園のひとつ、徳川家ゆかりの「偕楽園」があり、春になると梅を楽しむ人々で賑わう。広大な緑地や千波湖は、市民の憩いの場として親しまれている。

■コースの概要

①研修目的

日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情・日本文化に関する研修を行うもの。

②コースの特色

研修生は留学生のためのクラス及び日本人学生と同一のクラスで学び、更に日本社会で生活することにより、日本語・日本文化を体験的に学ぶことができる。コース形態は下記のとおりである。
日本語・日本事情：留学生センター・教養科目で開講される主に留学生のための日本語・日本理解のための授業
日本文化：日本人学生と日本について学ぶ教養科目
日本関連科目：人文社会科学部で開講される授業

③受入れ定員：1名（大使館推薦0名、大学推薦1名）

④受講希望者の資格、条件等

来日前に日本語の学習歴を有し、日本語で行われる授業の参加に必要な日本語能力を備えていることが望ましい。

⑤達成目標

日本語・日本文化を学びながら、同世代の日本人学生と積極的にコミュニケーションを図れることで、より一層日本への関心や興味を持ち、理解を深めていく事を達成目標とする。

⑥研修期間：2017年10月1日

～2018年9月30日

⑦研修科目の概要

授業は原則として、前期(4月～8月上旬)と後期(10月～2月上旬)各16週(内1週はテスト)開講される。

(1) 必修科目

①日本語

日本語レベルにより、a. またはb. の授業から選択

- a. 教養科目「学術日本語」「学術日本語基礎」
 - ・日本語上級(聴解、読解、口頭発表、レポート作成、総合)
- b. 留学生センター開講科目
(これらのクラスは、「単位」には関係ありません。)
 - ・日本語中級～上級
 - ・レベル3: 総合、口頭表現、中級漢字
 - ・レベル4: 総合、上級会話、上級漢字、日本事情

②日本人学生と学ぶ教養科目

- ・異文化理解
日本人と留学生が討論を通して、互いの文化や様々な文化についての理解を深める。
- ・異文化と日本の出会い
日本の生活文化について、日本人学生と留学生が話し合う。
- ・異文化としての日本
留学生と日本人学生により、日本文化の理解を深める。



茨城大学 (茨城県)



研修生は留学生のためのクラス及び日本人学生と同一のクラスで学び、更に日本社会で生活することにより、日本語・日本文化を体験的に学ぶことができる。

(2) 選択科目

人文社会科学部で開講される日本語・日本文化に関連する科目及び日本を理解する上で役立つ他の科目の中から、留学生が指導教員と相談の上、授業科目を選択し受講する。

⑦行事等

(1) 全学の留学生とともに、関東地方又は東北地方方面への国際交流合宿研修を実施する。

(2) 留学生支援団体及び地域住民等との懇談会・交流会を実施する。

⑧指導体制

(1) プログラム実施委員長

古賀 純一郎 (人文社会科学部教授)

(2) 指導体制

当該の留学生の関心領域に近い専門の教員が指導教員となり、日本文化及び関連分野についての勉学が進むように指導する。

また、国際交流等に関心の高い日本人学生をチューターとして付け、勉学面のみならず、生活面に渡るまでサポート体制を取り組む。

⑨コースの修了要件、修了証書の発行

所定の科目を履修した者に、コース期間修了後「修了証明書」を交付する。

⑩単位認定、単位互換等

留学生センター開講の授業は、単位を出さないが、人文社会科学部開講の授業は、単位を認定する。単位互換は、当該学生の出身大学の判断による。

■ 宿舎

国際交流会館

○ 宿舎数

- ・ 単身用38室 (A, B棟)、12室 (D棟)、23室 (EFGHI棟)
- ・ 夫婦用2室 (C棟) ・ 世帯用2室 (C棟)

○ 家賃 (月額)

- ・ 単身用 5,900円 (A, B棟)、20,400円 (D棟)、20,400円 (EFGHI棟)
- ・ 夫婦用、世帯用 14,200円 (C棟)

○ 宿舎周辺の生活情報、通学時間

国際交流会館から本学までは徒歩15分位で、入居期間は1年以内である。

■ 修了生へのフォローアップ

修了後の研究に対し、要請に応じたEメール等を通じて協力助言する。

■ 問い合わせ先

住所：〒310-8512

茨城県水戸市文京2-1-1

担当：学務部留学交流課

TEL：029-228-8056

FAX：029-228-8594

茨城大学ホームページ

<http://www.ibaraki.ac.jp/>

茨城大学留学生センターホームページ

<http://www.isc.ibaraki.ac.jp/>